



# 進路だより

第2号 令和 6年 6月19日  
宮城県立石巻支援学校  
進路指導部



高等部の前期現場実習が終わりました。保護者の皆様には進路指導に関する説明会や各種調査に御協力いただきまして、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

進路だよりでは、各学部の進路指導に関係の深い学習を紹介します。進路指導との関連で「発達段階にのける育てたい力」につきましては、「進路の手引き」を御覧ください。

## 小学部「日常生活の指導」(朝の会)

「朝の挨拶」では、「起立。」という日直の合図で立って、いすを机の中に入れて、「おはようございます。」の挨拶をします。日直は進行表のカードを指さしたり、矢印のマグネットを動かしたりして会を進行します。「元気調べ」では、日直が友達の名前を呼んで、写真カードを手渡します。呼ばれた児童は、返事をして、ボードの自分の名前の所に写真カードを貼ります。「カレンダー」で日にちと曜日の型はめ、日課表を見て一日の流れと活動場所を確認します。毎日の繰り返して、挨拶、礼儀、役割、コミュニケーションの基本を学んでいきます。



## 中学部「作業学習」

中学部の作業学習は、「木工班」と「工芸班」の二つの作業班に分かれて学習しています。仕事には様々な工程があることを体験的に理解し、作業学習に必要な集中力や、丁寧に仕事をする大切さなど身に付けることをねらいとしています。「木工班」では、桜の木を扱った製品作りに取り組みます。木の採寸、のこぎり引き、やすり掛けなどをして材料の準備をしています。「工芸班」では、牛乳パックを材料にした製品作りに取り組みます。牛乳パックのラミネートを「剥がし」、乾かしてから「ちぎり」の工程を経て、ミキサーに掛け、紙すきの原材料を作ります。それぞれの作業班で、表情豊かな製品に仕上げていく予定です。12月には「作業製品販売会」があります。是非お越しください。



木工班

工芸班

## 高等部 前期現場実習期間での校内実習 (5/27[月]~6/14[金])

高等部では、働く意欲や態度を養うことをねらいとして、前期現場実習/校内実習に取り組みました。今年度も前期の校内実習では、陶芸班、農芸班、手工芸班、サービス班、生活班の5つの班に分かれて実習をしました。従来の各作業班での作業の他、外部委託作業(食品を入れる袋のシール貼り、食品を入れる箱の箱折りなど)、校内委託作業(プールサイド清掃、雑巾縫製など)をしました。実習期間中は、普段の作業学習より長い作業時間でしたが、達成感、成就感を味わいながら、集中して作業に取り組む様子が見られました。

陶芸班



農芸班

手工芸班



サービス班

生活班



# 高等部現場実習

5月27日(月)～6月14日(金)に、高等部2・3年生が進路希望や実態に応じて、2～15日間の実習を行いました。実習先に行かない日は、校内で実習を行いました。(1ページ目参照)。実習先は次のとおりです。

種別・福祉サービス	事業所名
一般企業	アルパジョン石巻総本店
一般企業	イオン石巻店
一般企業	イオン石巻駅前店
一般企業	オートランドリータカノ
一般企業	ケーズ電気石巻本店
一般企業	フレスコキクチ矢本店
一般企業	DCM多賀城東店
一般企業	新陽ランドリー
一般企業	せんだんの杜ものう
一般企業	鮮冷
一般企業	つつじ会(アゼイリア等)
一般企業	薬王堂石巻渡波店
一般企業	やもと赤井の里
一般企業	良葉東部
一般企業	和香園
就労継続支援A型	クリエイティブ笑未
就労継続支援A型	ほっとファーム松島

種別・福祉サービス	事業所名
就労継続支援B型	愛さんさん
就労継続支援B型	織音
就労継続支援B型	小国の郷
就労継続支援B型	かしわホーム
就労継続支援B型	きゅう
就労継続支援B型	きらら女川
就労継続支援B型	サンネットなごみ
就労継続支援B型	パーラー山と田んぼ
就労継続支援B型	ほっとハート松島
就労継続支援B型	みどり園
就労継続支援B型	めだかのたいよう
就労継続支援B型	ラボラーレ
就労継続支援B型	レインボー多賀城
就労継続支援B型・自立訓練	あっぷるぷらす
就労継続支援B型・生活介護	ぎんの星
生活介護	桜・さくら
生活介護	第二ひたかみ園
生活介護	つくし
生活介護	はぴねすプラザ

実習先や進路先を決めるときは、表の中にあるように「就労継続支援B型」「生活介護」等の福祉サービスについて知っておく必要があります。次号では、福祉サービスや作業内容等についてお伝えします。

## ～「自立」に向けて育てたい力～

各学部の児童生徒が、毎朝、校庭や体育館を元気に走っている姿を見ると、私たちが元気が出てきます。そんな様子から、日々の児童生徒の成長を感じます。



### 「体力を付ける」

高等部卒業後に「社会人」として、どこの会社や施設に行っても「体力」が求められる。体力を付けるには、睡眠や食事など生活リズムが整っていることが大切です。基礎的な体力を付けることによって、勉強や労働を続けることができるようになります。体力を付ければ自信にもつながっていきます。毎日の学校生活の小さな努力の積み重ねが大事になってきます。

